

令和7年度 川地連合自治会 第6回 理事会

9月16日(火)

- 1 開会 18時54分～19時40分
- 2 連合会長あいさつ 三良坂連合自治会長さんがコンバインで大けが、事故防止に努めるように
- 3 周知・協議内容 * ■印 要報告

- (1) ○春木養豚場ファロスファーム公害防止協議会 9/24 13:30～ 青河コミセン
- 三次自治連市長懇談会ほか 9/30 14:00～ 十日市コミセン 連合会長、前川
- 市政懇談会まちづくりトーク 10/1 19:00～ 川地自治会館 * 設定テーマ資料
- 各自治会より2名以上参加してください
- いきいき塾 10/2 島根原子力館、松江城 20名
- 川地ふる里まつり実行委員会 10/9 19:00～ JA三次西支店
- 各種チラシの作成、応募(ふる里まつり実施、仮装コンテスト、産直市、風船割りゲーム) 10月広報で配布する。
- ふる里まつりへの協力金 1戸あたり200円をお願いします
- 河川道路一斉清掃 10/5 * ゴミ袋配布済み 写真データを後日提供してください
- 志和地駅周辺環境整備 草刈りの応援 10/1 9:30～ 1時間程度 有志による草刈
- 川地小 稲刈り体験 9/18 9:40～ * 川地クラウド横田んぼ

総務係・生活係・体育生涯学習係

- 青色防犯パトロール 8/2, 8/18 異常なし
- 食育支援会議 9/19(金) 18:00～

福祉係(川地地区社会福祉協議会)

川地合同敬老会 9/15 10:00 (9:00受付)

玉井会長(川地社協)より感謝のことは

編集係

- かわちだより 101号 9/9発行

広報仕分け係 * 定例 毎月9日(土日の場合は前倒し)

- 仕分け 10/9(木) 17:00

青年企画部

(2) 単位自治会関係(連絡事項、理事会で協議してもらいたいことなど)
(上川立上)

(上川立中) JRから駅そばの第4種踏切に遮断機を設置したいとの話。自治会で検討することにした。

(下川立) 国交省からのパンフレット(川地大橋そばの護岸工事)を配布
太平神社そばの踏切JRが手動遮断機を設置することになった。
川地小下の横断歩道移設工事が始まる。

(岡城) なし

(中の村) 8月23日に理事会を開催した。

(志和地) なし

(瀬谷) なし

(秋町) なし

(3) 視察研修について

研修先 岡城自治会より提案 広島市豪雨災害伝承館(資料) **ここを見学することに決定**

(4) 単位自治会からの要望について(中の村)

- ・JR木舟踏切通行に関する通行規制の看板設置について

会長：住民の安全のためには設置が必要で、進めたい。

ただし、看板の型式選定、土地所有者の了解などが必要

- ・Aコープかわち店閉店に伴う地元の対応について

会長：川地コミュニティは浸水域に立地するので、市の方に投げかけていきたい。

また、各理事さんはこの問題に参画いただきたい。

下川立自治会理事：川地中学校統合問題で、同校保護者との会合はどうなったのか。

会長：会合を持ってほしいと話をした。

PTA会長さんは、アンケート案を作って校長に出された。

中学校長さんには、PTではなくP（父兄）だけで進めるべきではと話した。

【理事会】

令和6年度
令和7年度

連合役職・理事		単位自治会	役職	氏 名	単位・副会長等 氏名
1	連合会長	下川立地区		久保田 博 昭	
2	副会長	志和地	会長	中 河 博 司	山 本 興 一
3	副会長		会長		
4	理事	上川立上	会長	境 辰 夫	山 広 勝 義
5	理事		事務局長	松 岡 英 徳	
6	理事	上川立中	会長	福 本 幸 則	岩 広 真 弓
7	理事		事務局長	西 川 三 千 男	
8	理事	下川立地区	会長	久保田知可治	波 多 野 進
9	理事		事務局長	渋谷 憲 二	
10	理事	岡城	会長	村 岡 静 明	河 野 隆 史
11	理事		事務局長	有 馬 健 三	
12	理事	中の村	会長	末 國 富 雄	長 岡 憲 治
13	理事		事務局長	川 本 正 勝	
14	理事	志和地	事務局長	重 保 清 隆	
15	理事	瀬谷	会長	国 政 裕 次 郎	野 崎 浩 昭
16	理事		事務局長	国 政 良 信	
17	理事	秋町	会長	田 中 佳 博	神 山 公 生
18	理事		事務局長	藤 岡 一 興	
19	理事	川地地区社協	会長	玉 井 隆 行	
20	連合		事務局長	前 川 涉	

*	川地防災士会	代表	森 田 健 二	
---	--------	----	---------	--

顧問	鈴 木 深 由 希	
顧問	藤 岡 一 弘	

次回は
10月21日(火)
19:00~

三次市 経営企画部 秘書広報課 行

メール: hisyo@city.miyoshi.hiroshima.jp
FAX: (0824)62-6223

市政懇談会「まちづくりトーク」設定テーマ 調査票

住民自治組織名(川地連合自治会)

設定テーマとして、次のことについての意見交換を希望します。

1 設定テーマ（最低2項目の記入をお願いします。）

(タイトル)	
優先順位	1
	現在、川地コミュニティセンターは志和地駅横にあり、ハザードマップでは最大3mの浸水が想定されている。築38年が経過している中、補助避難所として機能する場所となっているが、今後老朽化が進み、地域の人々の安全な避難場所として活用していくことはますます困難となることが予想される。ついては、地域を守っていく立場として市のお考えをお聞きしたい。
	2
	3

2 資料配布予定 (有 ・ 無)

※不明な点等がありましたら、三次市秘書広報課(Tel0824-62-6103)までご連絡ください。

提出期限: **8月18日(月)**

令和7年度市政懇談会「まちづくりトーク」 日程(後半)

No.	月 日	曜	時 間	地区名	会 場
1	10月1日	水	19：00～20：30	川地	川地コミュニティセンター
2	10月3日	金	19：00～20：30	川西	川西コミュニティセンター
3	10月6日	月	19：00～20：30	君田	君田生涯学習センター
4	10月7日	火	19：00～20：30	十日市	十日市コミュニティセンター
5	10月9日	木	19：00～20：30	甲奴	甲奴健康づくりセンターゆげんき
6	10月10日	金	19：00～20：30	吉舎	よっしゃ吉舎（吉舎交流拠点施設）
7	10月29日	水	19：00～20：30	布野	布野生涯学習センター
8	11月6日	木	19：00～20：30	三和	みわ文化センター
9	11月7日	金	19：00～20：30	河内	河内コミュニティセンター
10	11月17日	月	19：00～20：30	三次	三次コミュニティセンター
11	11月18日	火	19：00～20：30	神杉	神杉コミュニティセンター

※気象状況等によっては、変更する場合があります。

平成26年8月豪雨とは…

平成26年(2014年)8月20日未明に、広島市安佐南区などで、死者77人(災害関連死含む)の人的被害と、住家全壊179棟、道路・橋梁・河川堤防1079件の物的被害をもたらした豪雨災害。



団体でのご来館はご予約ください。

内容・時間配分などはご相談ください。

— ご来館・研修の一例 —

- ガイダンス(災害概要・復興経緯など) …………… 20分
- 2F展示・観覧 …………… 20分
- 2F展示・ガイド付き観覧 …………… 30分
- 館内ご案内 …………… 30分
- ★被災地案内 …………… 30~120分
- ★研修各種 …………… 45分~

※：★については内容の打ち合わせが事前に必要です。



ACCESS

●お車でお越しの方

【車】山陽自動車道 広島インターから約10分

【駐車場】普通車 / 身体障害者用 / バス:要予約

●公共交通機関でお越しの方

【J R】可部線 梅林駅から徒歩約7分(約550m)

【バス】八木梅林バス停から徒歩約7分(約550m)

●タクシーご利用の方

【タクシー】JR可部線 緑井駅から約12分

第1回「NIPPON防災資産」優良認定



優良認定

内閣府及び国土交通省は、地域で発生した災害の状況を分かりやすく伝える施設や災害の教訓を伝承する活動などを「NIPPON 防災資産」として認定する制度を2024年9月に創設しました。当館は第1回「NIPPON 防災資産」の優良認定を受けました。

■全日本建設技術協会 令和5年度全建賞受賞

広島市豪雨災害伝承館

所在地 〒731-0101 広島市安佐南区八木三丁目24番23号

電話 082-832-0091

FAX 082-832-0095

開館時間 10:00~17:00

メール info@bairin-cr.jp

休館日 月曜日、祝・休日の翌日(直後の土曜日、日曜日、祝・休日でない日)
8月6日、年末年始

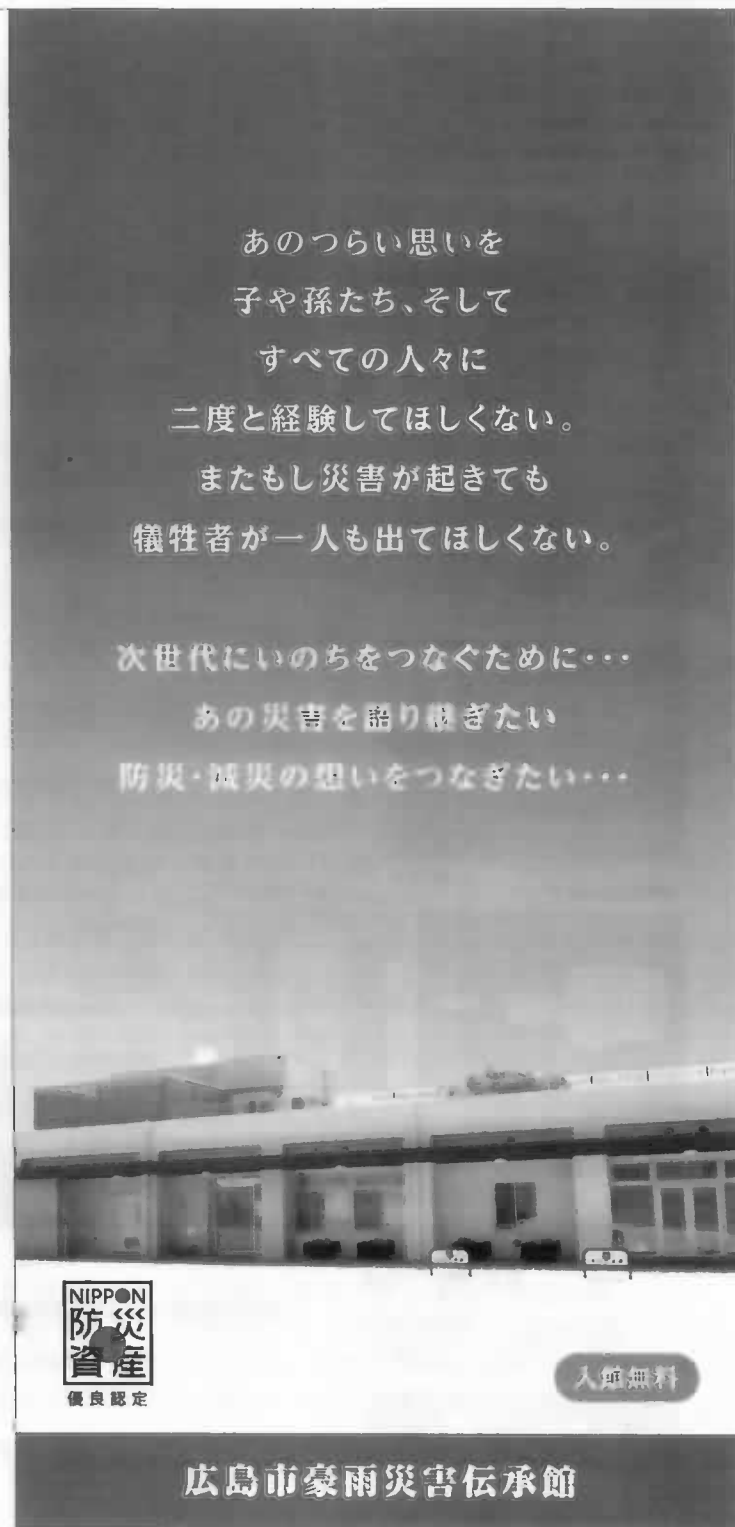
<https://trdmc.jp>



HP



02014.8.20



あのつらい思いを
子や孫たち、そして
すべての人々に
二度と経験してほしくない。
またもし災害が起きても
犠牲者が一人も出てほしくない。

次世代にいのちをつなぐために…

あの災害を語り継ぎたい
防災・減災の想いをつなぎたい…



優良認定

入館無料

広島市豪雨災害伝承館

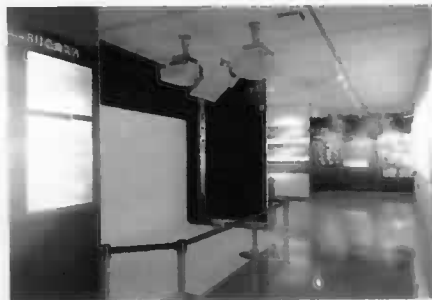
広島市豪雨災害伝承館でできること

※災害時は避難施設として活用

見る

展示スペースの見学

- 土石流のCG映像を含めたガイダンス映像
- 被害の全容
(災害記録や2000点以上の被災写真など)
- 復旧・復興の状況
- 災害のメカニズム
- 復興のあゆみ



▲展示



▲展示



◀被災者の語り継ぎ映像

聴く

被災者による語り継ぎ

- 被災者のインタビュー映像・展示
- 語り部による伝承
- 被災者の体験談・ビデオ・映像

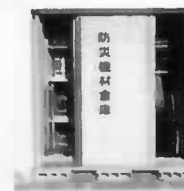
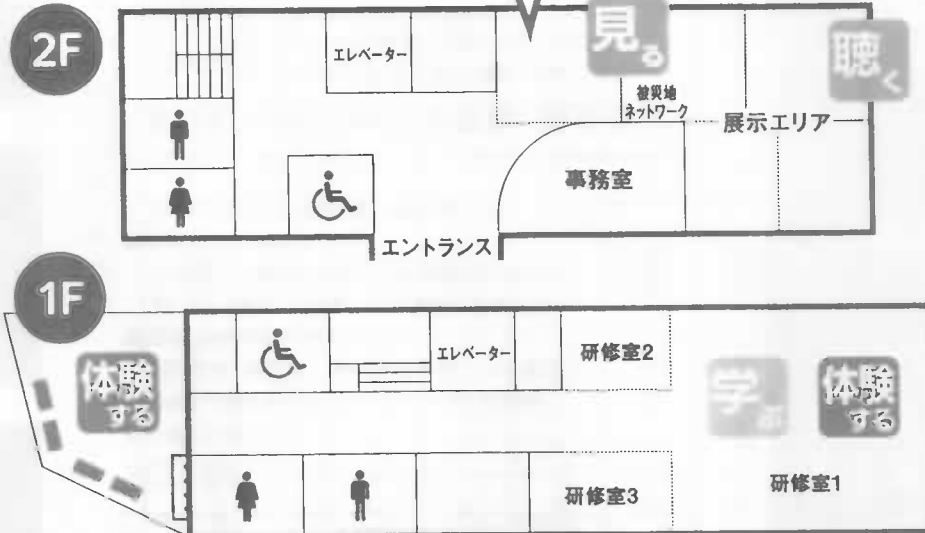
メッセージ

- ① 防災・減災の啓発 8.20広島豪雨災害からの「語り」
- ② 体系的 学術的な防災教育訓練の実施 防災減災の知識・技術を身につける
- ③ 被災地ネットワーク 被災地の教訓・知恵・技術の共有 (被災者だからできる)復旧復興支援

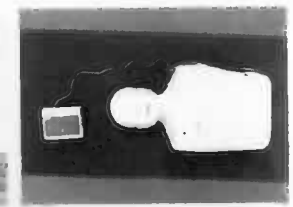
- ・災害のガイダンス映像
- ・CGによる土石流の再現映像



▲エントランス



▲防災備材倉庫



▲AED研修機材



▼公園



▲かまどベンチ



▲研修室1



研修室3▶

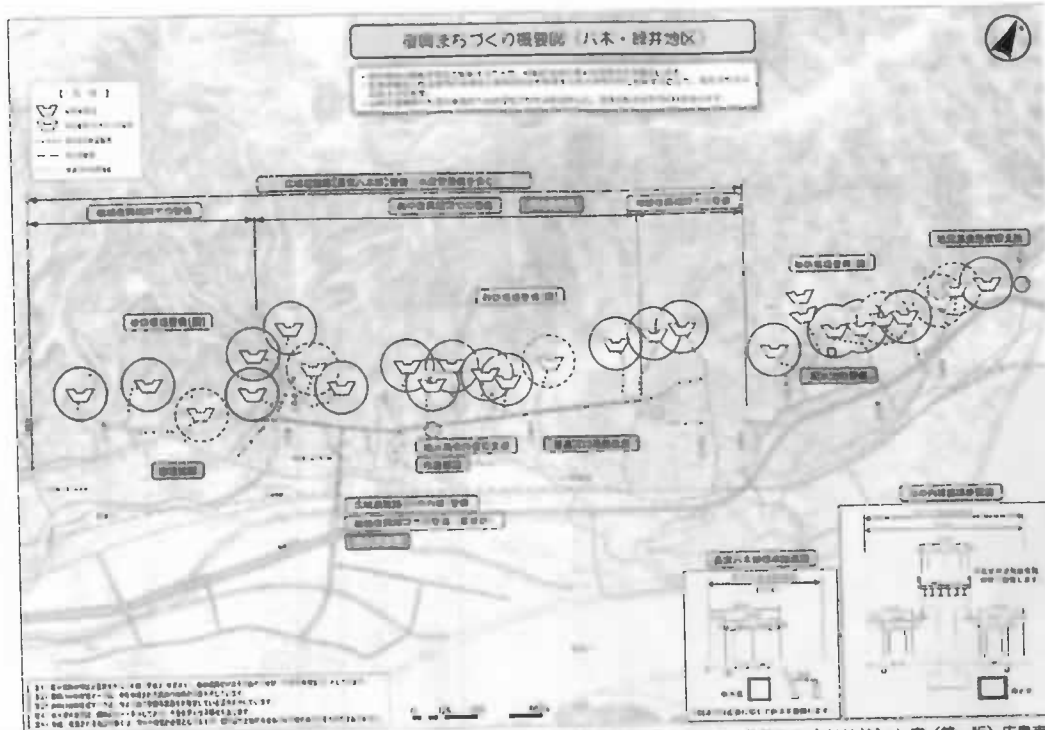
最大120名収容の研修室に
パーティションを外すと



体験する

訓練などの体験学習

- かまどベンチでの炊き出し訓練・防災東屋*を備えた隣接公園での訓練
※災害時にテントをかけて避難施設などに使用
- 被害の跡が残る場所や砂防施設の見学



平成 26 年 12 月 2 日公表 復興まちづくりリビジョン案（第一版）広島市

■救助救援支援状況

陸上自衛隊：14,990 人

警察庁：災害派遣隊（19 都府県警察警察）約 9,200 人
1 日約 1,700 人体制
（広島県警 約 1,000 人 警察災害派遣隊 約 700 人）

消防：県内 1,471 人 車両 309 台
県外 2,634 人 車両 622 台 ヘリ 68 機
消防団 4,758 人 災害救助犬 30 団体 135 人 108 頭

日本赤十字：D-MAT 218 人

国土交通省：TEC-FORCE 2,441 人

ボランティア（平成 26 年 8 月 23 日～平成 28 年 1 月 31 日）
44,485 人（安佐南区：29,853 人、安佐北区：14,632 人）

義援金：総額 63 億 239 万 8,481 円（平成 26 年 8 月 22 日～平成 27 年 9 月 30 日）



平成 26 年
(2014 年)

8 月
豪雨災害

- 災害概要 -

広島市豪雨災害伝承館

発災：平成 26 年（2014 年）8 月 20 日 2:00～3:30 頃
時間雨量（観測点上位 3 位、8 月 20 日 3:00～4:00）

115mm 安佐北区可部南部・可部東部（上原）
112mm 安佐北区三入、97mm 安佐北区大林

累加雨量（観測点上位 3 位、8 月 20 日 5:00）

287mm 安佐北区可部南部・可部東部（上原）
265mm 安佐北区三入、249mm 安佐北区大林

死者：77 人（安佐南区 68 人、安佐北区 6 人、関連死 安佐南区 3 人）
（最終不明者 平成 26 年 9 月 18 日発見）

最大時避難対象者数：68,813 世帯 164,108 人（8 月 20 日～31 日）
（安佐南区 23,782 世帯 58,228 人、安佐北区 45,031 世帯 105,880 人）

ライフライン被害

電気：8 月 20 日 4:00 7,100 戸停電、8 月 29 日 19:00 復旧

水道：8 月 20 日 16:00 2,662 戸断水、10 月 1 日 17:00 復旧

JR：可部線 8 月 20 日～8 月 31 日運休、9 月 1 日 始発より運転再開
芸備線 8 月 20 日～8 月 21 日運休、8 月 22 日 始発より運転再開

路線バス：8 月 20 日～ 運休や迂回運転、翌年 1 月 ほぼ復旧

NTT 西日本：電柱の倒壊折損及び通信ケーブル切断発生、9 月 7 日 復旧

9 月 5 日 激甚災害指定（閣議決定）

川地連合自治会
久保田会長 様

同じ		回覧		9月5日	
会長	副会長	事務局長	起案者		
		R7年9月4日			
文書収受				月	日

中の村自治会長 木田 富雄

通行規制看板の設置について（依頼）

去る8月19日の理事会でも説明しましたように、6月上旬に木舟第2踏切で列車と軽トラックの接触未然事件が発生しました。これによってJR西日本からは踏切閉鎖等の措置が求められましたが、交渉の結果、当面の現状維持が認められました。ただ、その後も当該踏切を通過する車両が散見され、中には普通自動車も含まれており、道路幅からしても極めて危険です。JR側の注意喚起要請もあり、9月上旬に中の村自治会と志和地自治会の各戸に注意喚起文を配布する予定です（参考添付）。

貴会におかれては、この件の解消策の一環として下図の赤丸地点に、大船橋に設置されているような看板を設置していただくようお願いします。

文面案は以下のとおりです。



文案（縦書き）：

この先、道路幅が狭く踏切（警報機なし）あり、危険！
右の道路に進行して下さい。 川地連合自治会

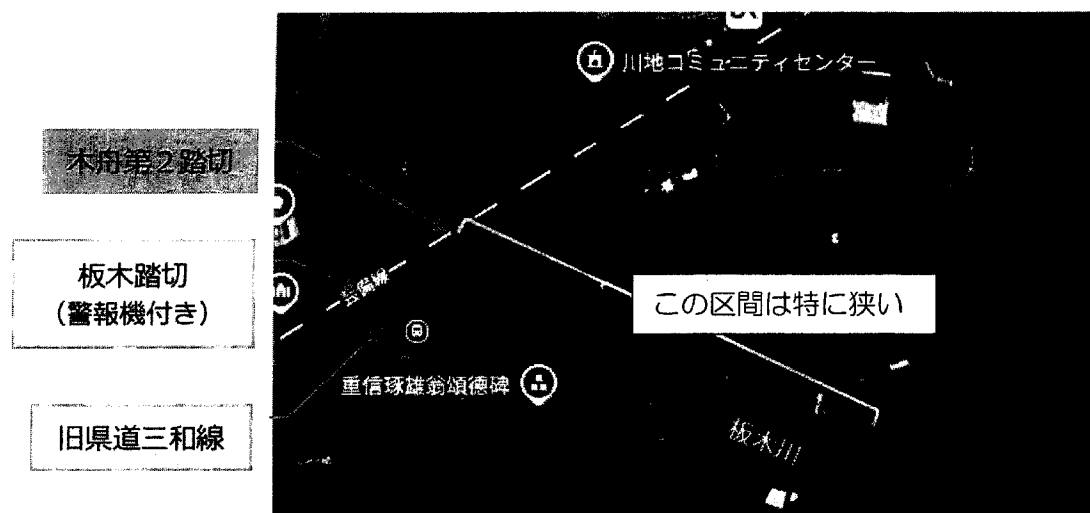
この先の踏切
普通車通行禁止
軽・小特は通行可 川地連合自治会

以上

木舟第2踏切を通行する方に

<<< 中の村自治会からの注意喚起 >>>

6月7日(土曜日)午後6時頃、「木舟第2踏切」で、列車が接近し板木踏切の警報機が鳴動しているにも拘わらず、軽トラックが踏切内に侵入して通り抜け、列車は直前で軽トラックの動きに気づき緊急停止、あわや衝突という事象が発生しました。



これにより、7月8日JRから中の村自治会に、踏切廃止又は軽自動車通行止めへの変更について8月末回答期限の提示があり、7月25日に地元常会で説明会を開催、要望をまとめ協議を進めて参りました。

(当該軽トラックは、地元常会員ではないことが判明しています。)

結果、8月13日にJRから、「今回については、交通規制は変更せず現状維持とするが、今後において事故又は可能性のある事象が発生した場合は、何らかの対策を講じざるを得ない」という連絡があり、「地域の皆様に対しても注意喚起をお願いしていただきたい」との依頼がありました。

つきましては、木舟第2踏切は道路幅が狭く、「自動車通行止め(軽・小特を除く)」で警報機もありません。規制等をよく理解して安全に利用するようお願いいたします。また、地元常会以外の方は、できるだけ通行を回避し、旧県道(板木踏切)を利用していただくようお願いいたします。

R7年9月9日 中の村自治会長

A コープ川地店閉鎖への対応（8月末）

経過：

- 7月19日： 「A コープ川地店の今後について」説明会の開催
- 8月19日： 連合自治会理事会で「A コープ跡地利用協議会の設立」を提案
- 8月末： 市幹部と面会（久保田会長）
- 8月26日： JA ひろしま三次地域の幹部と面会（末國）

JA 幹部の説明内容：

26日8時50分～9時15分頃まで JA 三次本館2F

JA 幹部の説明内容

- ①A コープかわち店の建屋は解体し更地にすることが決まっているが、時期は未定
- ②更地の空き地を地元行事に使われることは可能
- ③川地連合自治会が連絡会を作るなら窓口になり対応する。

今後の対応：

- ア. 連合自治会が連絡会を作って関係者の参加を募り、今後の対応の母体とする。
 - ・当初の連絡協議会のように集まっての会合はやらない。
 - ・メールによる情報交換を通じて連絡会を運営し、建屋の撤去時期、とくし丸の運営計画、地元自治会の意見などを反映させ必要なら会議を開く。
 - ・声掛け範囲は、JA ひろしま、A コープ、市役所、市議ほか

イ. 川地連合自治会で検討しておく事項

- ①更地に整備しておいてほしい施設
 - ・例えば、電気、水道、トイレ、舞台の設置ができる設備など
 - ・ふるさと祭りや葉ボタン市の開催などを想定した検討
- ②とくし丸（A コープ商品を個人が販売）の運営
 - ・運営希望者の有無、訪問先やルートの要望
 - ・老人会などの意見把握

ウ. 川地コミュニティが浸水想定域にあることの対応

- ・10月1日の地域懇談会のテーマ「地域の安全な避難場所」でもある。

(以上)